

時代に求められる 性能を!

輸送ビジネスに応える、新発想。

新型日野プロフィア ハイブリッド 誕生



大型トラックの課題でもあるCO₂の削減はもちろん、
低燃費による燃料費の節減も高い水準で実現。
今までにないシステムで大型トラックの新しい時代を切り拓きます。

健全な会社経営を継続的に行っていくため、その原資となる利益を生み出す手段として燃料費を抑え経費を節減していくことは、取り組むべき課題の一つです。

新型日野プロフィア ハイブリッドは、低燃費により燃料費の節減に貢献。勾配を先読みし、AIが走行負荷を予測して最適な制御を行う新ハイブリッドシステムや、システムの状態をリアルタイムに表示するモニターなど時代に求められるさまざまな性能を搭載しています。

企業経営の一助になるために、新型日野プロフィア ハイブリッドは、燃費性能、安全性能、快適性で応えます。

■大型トラックのハイブリッド化によるメリット

4.75km/L。大型トラック屈指の低燃費を実現。※

「平成27年度燃費基準+15%」を達成。環境対応車普及促進税制など、税金の軽減措置が受けられるとともに、電動化対応トラック・バス導入加速事業の補助金の対象となります。

4.75[※] km/L



※：重量車モード燃費値(国土交通省審査値)15トン積、標準平ボデー完成車の数値

CO₂の排出量を低減

排出量の多くの部分を占める大型トラックのハイブリッド化によって、ディーゼル車に対し、削減効果が期待できます。

ドライバーの疲労軽減にも貢献

定速走行時にはモーターのみの走行が可能。平地での高速走行時には音や振動が低減されるため、ドライバーの疲労軽減にも貢献します。

アイドリング時間を減らし地域へ貢献 (電動冷凍車)

エンジン停止時にも、一定時間の冷凍・冷蔵が可能になるため、アイドリング運転の時間短縮が図れます。街中やサービスエリアでの騒音・振動の低減に貢献します。

新型日野プロフィア ハイブリッドで、大型トラックに新発想を。

大型トラックの特徴を活かし日本の道路事情にマッチする、
理想のハイブリッドシステムをめざして。

変えたのは、大型トラックにハイブリッドシステムは不向き、という常識。

高速道路を走行することが多く、加減速の少ない大型トラックにハイブリッドシステムは不向きとされていました。日野は、大型トラックの燃費性能を向上させることで、CO₂排出量の

削減にも貢献するため、この常識を打ち破る新たな開発を決意。大型トラックにふさわしい、新システム完成へたどり着きました。

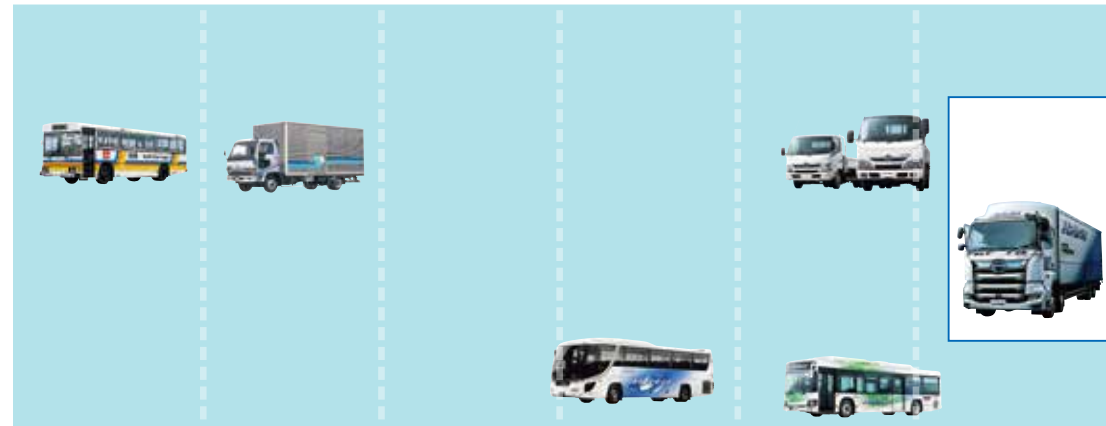
日野は、勾配の多い日本の高速道路事情と大型トラックの車重に着目しました。頻繁に現れる下り坂で、“大きな車重”を活用し“大きな位置エネルギー”を電力に変換。平坦路の走行時には、その回生パワーを活用したモーター走行を行い、燃料節約に寄与します。

経費を減らすために、働き方を変えるために、
ハイブリッドシステムを使用した新しい電動冷凍車。

日野プロフィア COOL Hybridは、ハイブリッド用バッテリーの電力を活用して、冷凍機用コンプレッサーを駆動。車両エンジンで冷凍コンプレッサーを動かす「直結式」の経済性と、冷凍機専用エンジンを用いる「サブエンジン式」の優れた冷凍性能を併せ持つ画期的なシステムです。



日野は、ハイブリッドのバイオニア



お客さまの使用実感



開発者の想い

新型日野プロフィア ハイブリッドは、日野のハイブリッド技術の集大成といえる商品です。このクルマを開発するにあたり常に考えていたのは、お客様のビジネスに貢献することです。昨今、変革著しい自動車業界において、電動化開発では乗用車がとりわけ注目されておりますが、商業車では、大きな積載重量、長い航続距離、インフラ整備など、さまざまな課題を抱えております。

一方、私どものお客様は大切な人や物の移動を、日々担われております。お客様に対して車両の特別な使い方を強いることなく、毎日の稼働

をもっと便利に効率的にスピードアップしていただき

